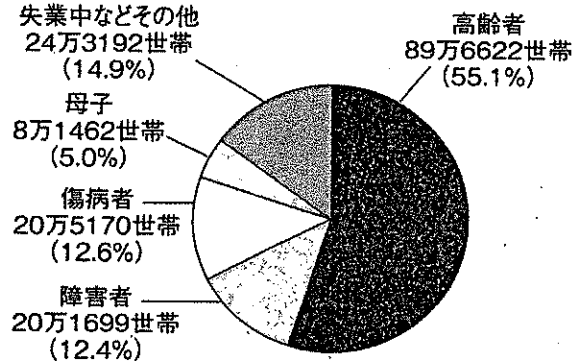


# 生活保護 高齢・障害者世帯が約7割

## 両世帯で生活困窮広がる

### 2019年8月の生活保護利用世帯



厚生労働省被保護者調査から作成。世帯数は保護停止中を除いた数

今年8月に生活保護を利用した世帯（保護停止中を含む）は163万6646世帯で、前年同月より1953世帯少なかったことが6日、厚生労働省の被保護者調査でわかった。

りました。ただ、高齢者と障害者の世帯では増えて、全利用世帯の7割近くを占め、両世帯での生活困窮の広がりがうかがわれます。

調査によると、8月に生活保護を利用した世帯（保護停止中を除く）を類型別にみると、高齢者世帯が全利用世帯の55%を占める89万6622世帯で、うち9割が1人暮らし（82万273世帯）でした。

このほか、障害者世帯が20万1699世帯（全利用世帯の12%）、傷病者世帯が20万5170世帯（同13%）、母子世帯が8万1462世帯（同5%）、失業中などその他の世帯が24万3192世帯（同15%）でした。

前年同月と比べて、利用世帯の総数は少なくなりましたが、高齢者世帯では1万5280世帯増、障害者世帯では3174世帯増といずれも増加。両世帯が全利用世帯の67%に達しています。